



令和8年度

純心中学校 入試問題

(一次)

算 数

1. 開始の合図があるまで問題を開かないでください。
2. 時間は40分です。
3. 解答はすべて解答用紙に記入してください。
4. 解答用紙はこの問題冊子さっしの中に入っています。

1 次の計算をしなさい。

(1) $26 - 13 - 8$

(2) $98 + 2 \times 10$

(3) $\frac{5}{8} - \frac{2}{5}$

(4) $3.5 \div 0.7$

(5) $6 \times (7 - 5) \div 3 + 12$

(6) $4 \div 0.25 \times 1.5$

2 次の にあてはまる数を入れなさい。

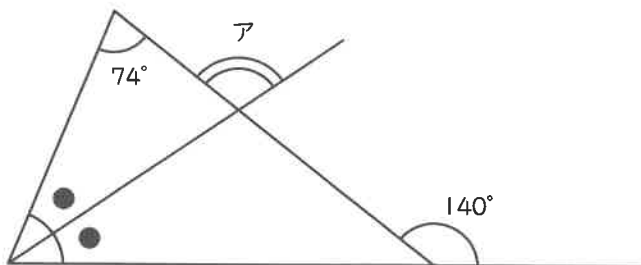
(1) 12 と 16 の最小公倍数は で、最大公約数は である。

(2) 時速 50 km の速さで 90 分間走ったとき、進んだ道のりは km である。

(3) 100g あたり 198 円の牛肉を 350g 買ったときの代金は 円である。

(4) 午前 7 時 43 分の 152 分後は午前 時 分である。

(5) 下の図で●の角の大きさが同じであるとき、アの角の大きさは ° である。

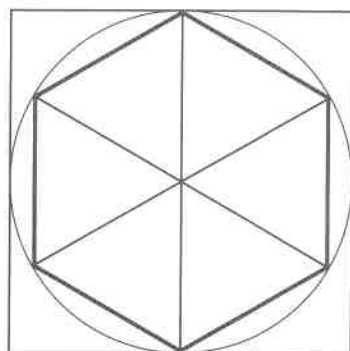


(6) 30 以上 90 未満の整数の中に、6 の倍数は 個ある。

(7) 小数第 1 位を四捨五入して 67 になる数は 以上 未満である。

〈このページは，計算など自由に使ってください。〉

- 3 右の図は、正方形の中にぴったり入る円と、その円の中にぴったり入る正六角形です。ただし、円の直径は 10cm とします。このとき次の各問いに答えなさい。



- (1) 正六角形は図のように 6 つの正三角形に分けられる。
その正三角形の 1 辺の長さを求めよ。
- (2) 正六角形のまわりの長さを求めよ。
- (3) 正方形のまわりの長さを求めよ。
- (4) 円周の長さは直径の 3 倍より大きく直径の 4 倍より小さいことを
(2), (3) の結果を使って説明せよ。
- (5) 円周の長さが、直径の何倍になっているかを表す数を円周率といい、
ふつう 3.14 を使う。次の㉠～㉣について、正しい場合は○を、
正しくない場合は × をそれぞれ書け。
- ㉠ 円の大きさが大きくなれば、円周率も大きくなる。
- ㉡ 半径が 10cm である円の円周の長さは 31.4cm である。
- ㉢ どのような円でも、円周の長さは直径の長さに比例する。

〈このページは，計算など自由に使ってください。〉

- 4 純子さんが、ケーキ屋さんに行って、プリン2個とケーキ8個を買おうとしたら、持っていたお金では600円足りませんでした。そこで、プリン2個とケーキ6個を買おうとしたら200円余りました。このとき次の各問いに答えなさい。

- (1) ケーキ1個の値段^{ねだん}を求めよ。
- (2) プリン4個とケーキ5個を買おうとした場合も200円余った。
プリン1個の値段と純子さんが初めに持っていた金額を求めよ。

- 5 下の表は、ある県の作物別の産出額を表したものです。
ただし、割合は小数第1位を四捨五入するものとします。
このとき次の各問いに答えなさい。

ある県の作物別の産出額

作物	米	いも類	野菜	果実	その他	合計
産出額（億円）	101	123	453	139		960
割合（％）	11			14	15	100

- (1) その他の産出額を求めよ。
- (2) 野菜の割合を求めよ。
- (3) ある県の作物別の産出額の割合を、解答用紙の帯グラフに表せ。
ただし割合が大きいものから順にかき、その他は最後にかくこと。

〈このページは，計算など自由に使ってください。〉

- 6 純子さんは次の問題に取り組んでいる。下の文章はこのときの、純子さんと先生の会話です。(ア)～(シ)にあてはまる数を答えなさい。

バスケットボールの試合で両チーム合わせて 37 本のシュートを決めた。
このうち、2 点シュートが 29 本であった。試合は合計 19 本のシュートを
決めた A チームが 6 点差で勝利した。このとき、A チームは何点決めて試合
に勝ったか求めよ。
また、両チームが決めた 2 点シュートと 3 点シュートの本数をそれぞれ求めよ。
ただし、シュートは 2 点シュートと 3 点シュートの 2 種類だけとします。

純子： この問題すごく難^{むずか}そうですね。どうやって解いていこうかな。

先生： まずは求めやすいところから 1 つずつ求めていきましょうか。
37 本のシュートを決めてこのうち 2 点シュートが 29 本だったから
3 点シュートは (ア) 本決めていますね。

純子： ということは 2 点シュート 29 本で (イ) 点、
3 点シュート (ア) 本で (ウ) 点とっているので、
両チームの得点は合わせて (エ) 点ですね。
そして A チームが 6 点差で勝利しているから
A チームは (オ) 点とって勝利したということですね。

先生：　そうですね。あとはそれぞれのチームが決めた２点シュートと３点シュートの本数を求めないといけませんね。これはＡチームが決めたシュートの本数が１９本ということから、まずはＡチームの本数がわかりそうですね。

純子：　はい。Ａチームは１９本のシュートで（オ）点とっているので、２点シュートが（カ）本、３点シュートが（キ）本ですね。

先生：　すばらしい。それはどうやって求めたのですか？

純子：　私は３点シュートが１本、２点シュートが１８本のときは（ク）点、３点シュートが２本、２点シュートが１７本のときは（ケ）点というように１通りずつ考えていきました。

先生：　そうですね。そうやって１つずつ考えていくことで答えを見つけることができますね。他の考え方もありますが、それはまた今度やってみましょう。あとはＢチームのシュートの本数ですが、両チーム合わせて３７本のシュートを決めて、Ａチームが１９本のシュートを決めているので、Ｂチームが決めたシュートの本数が（コ）本ということからＡチームのときのように求めることができそうですね。

純子：　Ｂチームが決めたシュートの本数は２点シュートが（サ）本、３点シュートが（シ）本でした。

先生：　よく解けましたね。

令和 8 年度 純心中学校入試（一次）算数 解答用紙

(※じるしのらんには何も記入しないこと)

1	(1)		(2)		(3)		※
	(4)		(5)		(6)		

2	(1)	最小公倍数		最大公約数		(2)		※
	(3)	円	(4)	時	分	(5)	km	
	(6)	個	(7)	以上 未満				

3	(1)	cm	(2)	cm	(3)	cm	※
	(4)						
	(5)	ア		イ		ウ	

4	(1)	円	(2)	プリン 1 個	円	持っていた金額	円	※
---	-----	---	-----	---------	---	---------	---	---

5	(1)	(億円)	(2)	(%)	※
	(3)				

6	(ア)		(イ)		(ウ)		※
	(エ)		(オ)		(カ)		
	(キ)		(ク)		(ケ)		
	(コ)		(サ)		(シ)		

受検番号		氏 名		得 点	※
------	--	-----	--	-----	---